

2023年6月27日

報道関係各位

ディー・ティー・ホールディングス株式会社  
企画管理部

## 2022年度（第11期）の業績について

本日、ディー・ティー・ホールディングス株式会社の本社（山形市）にて第11回定時株主総会が開催されました。下記のとおり報告および決議されましたので、お知らせ致します。

### 記

#### 《 事業の経過および成果 》

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況が続いておりましたが、段階的に行動制限が緩和され、特にマスクについては3月に着用が緩和されるなど、収束に向けて経済活動への影響に期待感が持たれました。しかし、ロシア・ウクライナ情勢による供給不安の高まりを背景に、原油をはじめとする資源価格の高騰による先進国を中心とした諸物価の高騰から、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような状況下、グループ傘下の各企業は夫々の施策により、事業の拡大と、業務の効率化を実施しながら、業績の向上と企業体質の強化に努めて参りました。

その結果、以下の事業経過および成果となりました。

#### 【物流関連事業】（主要子会社第一貨物株式会社の業績）

物流関連事業の主力事業である当期の貨物自動車運送事業は、世界的に原材料等の需給が逼迫する中、国内においては円安を背景とした輸入コスト増も加わって、コスト上昇を価格に転嫁する動きが拡がり物価が高騰し、個人消費を中心に購買力が低迷し下振れしました。国内貨物総輸送量は消費・生産関連貨物が伸び悩み、建設関連貨物の下押しもあってコロナ禍前の水準には届かず、前年を下回る状況となりました。

そのような環境下において引き続きコスト構造の変換を図るべく、外部戦力依存体質から脱却するため業務委託を自社で遂行する内製化を進めるとともに、社員の採用を強化して外注費を削減していく自社化を推進しました。

主力事業である特別積み合わせ事業におきましては、2022年11月以降急激な輸送量低迷により計画を大きく割り込む状況が続き、その結果特積み事業は輸送量および売上げとともに前期を下回りました。

一方、収支に直結する軽油価格は依然として高止まりしていたことにより、そのコスト上昇を吸収するため、燃料サーチャージの収受について顧客よりご理解いただくべく全社を挙げて注力し、目標とする数値には届かなかったものの一定の効果を上げることができました。

ロジスティクス事業におきましては、新規顧客の開拓および既存顧客の拡販に取り組み取引が好調に推移したことにより、売上げは前期を上回りました。

その結果、全事業業績は、売上高 730 億 21 百万円（前期比 100.4%）、経常利益 3 億 4 百万円（前期比 39.0%）、当期純利益 1 億 30 百万円（前期比 1.1%）となりました。

#### 【自動車販売事業】（主要子会社太平興業株式会社の業績）

自動車販売事業の主力事業である当期のトラック・バス分野は、自動車関連産業において半導体の供給不足や部品調達難が改善されず、車両生産体制は低調に推移しました。

各部門の実績を前年と比較してみますと、車両販売部門では、新車の納期遅延に加えて長期化する原油価格の高騰により運送事業者の業績が圧迫され、新車販売台数が減少し売上高は減少したものの、売価およびコストの見直しにより売上利益は増加しました。

部品部門と整備部門では、新車の納期遅延に伴う現有車の使用年数長期化、部品の拡販努力、および車検における台数の増加並びに単価の改善により、売上高、売上利益は前年を上回りました。

その結果、全事業業績は、売上高 259 億 53 百万円（前期比 99.0%）経常利益 3 億 24 百万円（前期比 115.9%）当期純利益 1 億 52 百万円（前期比 101.8%）となりました。

以上の主要子会社業績を含む当社グループ連結業績は、売上高 1,067 億 84 万円（前期比 99.9%）、経常利益 8 億 82 百万円（前期比 66.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益 6 億 28 百万円（前期比 6.0%）となりました。

#### 《 2023 年 3 月期決算 連結 》

	金額	前期比
営業収益	106,784 百万円	99.9%
営業利益	791 百万円	52.4%
経常利益	882 百万円	66.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	628 百万円	6.0%
配当金	10 円/株	—

《 役員の地位および担当 》

2023年6月27日をもって、新たに取締役1名が選任されました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏名	地位および担当	備考
米田 総一郎	代表取締役会長	
平岡 裕	代表取締役社長	
小原 雄大	取締役 企画管理部担当 兼 企画管理部長 兼 事業開発部担当 兼 事業開発部長 兼 経理財務部副担当	
藤井 俊昭	取締役 総務部担当 兼 総務部長 兼 経理財務部担当 兼 経理財務部長	
武藤 幸隆	取締役	新任
大沼 八右衛門	取締役（社外取締役）	
角田 マリ	取締役（社外取締役）	
佐藤 徹	常勤監査役（社外監査役）	
中田 信哉	監査役（社外監査役）	
川島 時夫	監査役（社外監査役）	

《 主要子会社 第一貨物株式会社 の役員の地位および担当 》

2023年6月26日付をもって、任期満了に伴い取締役1名が退任し、新たに取締役1名が選任され、取締役12名および監査役3名が重任しました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏名	地位および担当	備考
米田 総一郎	代表取締役社長	重任
仲島 順	常務取締役 輸送事業本部長 業務一部、業務二部、営業部、営業開発部副担当	重任
庄司 啓司	常務取締役 ロジ事業本部長 ロジ一部、ロジ二部、営業開発部正担当	重任
松田 伸三	常務取締役 管理本部長 総務部、人事部、施設車両部、安全管理部担当	重任
小原 雄大	常務取締役 経営企画本部長 経営企画部長 兼 上海駐在員事務所長 情報システム部、経理部担当	重任
仁科 秀樹	常務取締役 人事部長	重任
遠藤 誠	取締役 山形支社長	重任
今野 徹	取締役 北関東支社長	重任
鍋谷 雅彦	取締役 名古屋支社長	重任
松田 俊広	取締役 業務一部長	重任
泉川 栄光	取締役 営業部長	重任
高宮 睦哉	取締役 東京支社長	重任
小熊 要治	取締役 仙台支社長	新任
佐藤 徹	常勤監査役	重任
中田 信哉	監査役（非常勤）	重任
川島 時夫	監査役（非常勤）	重任

退任しました取締役は次のとおりです。

氏名	旧
横尾 新一	取締役（非常勤）

《 主要子会社 太平興業株式会社 の役員の地位および担当 》

2023年6月23日をもって、任期満了に伴い取締役2名が退任し、新たに取締役2名が選任され、取締役6名および監査役3名が重任しました。地位および担当は次のとおりとなりました。

氏名	地位および担当	備考
平岡 裕	代表取締役社長	重任
藤井 俊昭	常務取締役 管理本部長	重任
藁谷 昌弘	常務取締役 営業本部長	重任
米田 総一郎	取締役（非常勤）	重任
小原 雄大	取締役（非常勤）	重任
岡本 充生	取締役 新潟支店長	重任
五十嵐 英男	取締役 山形支店長	新任
三瓶 昌弘	取締役 総務部長 兼 研修所長	新任
長與 俊雄	常勤監査役	重任
川島 時夫	監査役（非常勤）	重任
中田 信哉	監査役（非常勤）	重任

退任しました取締役は、次のとおりです。

氏名	旧
佐藤 潤一	取締役 新潟下越地区統括部長 兼 新潟上越・中越地区統括部長
古瀬 公雄	取締役 秋田・山形地区統括部長

《 主要子会社 DT 商事株式会社 の役員の地位および担当 》

氏 名	地位および担当	備考
平 岡 裕	代表取締役社長	重任
米 田 総一郎	取締役	重任
藤 井 俊 昭	取締役 総務部担当	重任
藁 谷 昌 弘	取締役 海外営業部・国内営業部担当	重任
長 與 俊 雄	監査役	

以 上

お問い合わせ先

**DT** **ディー・ティー・ホールディングス**

山形県山形市諏訪町二丁目 1 番 20 号

Tel. 023-624-7101 Fax. 023-624-7102

【担当窓口】 企画管理部